

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスあるく				公表日 令和 7年 3月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	医療的ケア、重症心身障がい、その他の子どもが一緒にいる環境なので一人当たりの面積がまちまちになっています。安全を配慮しての配置となっています。	工夫している点と同じ。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	医療的ケア、重症心身障がい、その他の子どもが一緒にいる環境なので児童指導員や看護職員などの配置が難しいところですが、安全を配慮しての配置します。	工夫している点と同じ。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	医療的ケア、重症心身障がい、その他の子どもが一緒にいる環境なのでしにくい。出来るだけ稼働できる箇所を増やして多くのことに使える環境に徹している。	工夫している点と同じ。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	医療的ケア、重症心身障がい、その他の子どもが一緒にいる環境なのでしにくい。出来るだけ稼働できる箇所を増やして多くのことに使える環境に徹している。	工夫している点と同じ。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	医療的ケア、重症心身障がい、その他の子どもが一緒にいる環境なのでしにくい。出来るだけ稼働できる箇所を増やして多くのことに使える環境に徹している。	工夫している点と同じ。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	5	ミーティングを都度行い情報を共有している。判断基準を明確にしてP D C A のそれの中での状態を明確化している。	工夫している点と同じ。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	ご家族の意見を大切にして多くの改善につなげている。何でも言える信頼関係や環境を構築する。	工夫している点と同じ。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	ご家族の意見を大切にして多くの改善につなげている。何でも言える信頼関係や環境を構築する。	工夫している点と同じ。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	ご家族の意見を大切にして多くの改善につなげている。何でも言える信頼関係や環境を構築する。	工夫している点と同じ。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	職員会議やWebを利用し研修する機会を提供している。	工夫している点と同じ。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3	ホームページ上に掲載している。支援計画を作成する際などに本人、ご家族に説明している。	工夫している点と同じ。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	3	児童発達管理責任者が実施しているが、他職員には見えないところがあるので必ずミーティングをとおして周知している。	工夫している点と同じ。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	3	ミーティングを都度行い情報を共有している。また、その中で検討会を実施している。	工夫している点と同じ。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	ミーティングを都度行い情報を共有している。	工夫している点と同じ。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5	フォーマルなアセスメントは、基本様式を利 用し、インフォーマルなアセスメントは、情 報記入ノートからの転記となっている。	工夫している点と同じ。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	5領域となったこともあり研修会なども開催し周知している。	工夫している点と同じ。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	ミーティングを都度行い情報を共有している。また、その中で検討会を実施している。	工夫している点と同じ。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	子どもたちの発育を考慮しながらミーティングにて決定している。	工夫している点と同じ。

供 給	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	子どもたちの発育を考慮しながらミーティングにて決定している。	工夫している点と同じ。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	ミーティングを都度行い情報を共有している。また、その内で検討会を実施している。	工夫している点と同じ。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	ミーティングを都度行い情報を共有している。また、その内で検討会を実施している。	工夫している点と同じ。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	3	情報記入ノートがあり記録している。	工夫している点と同じ。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3	ミーティングを都度行い情報を共有している。また、その内で検討会を実施している。	工夫している点と同じ。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	4	行っている。	工夫している点と同じ。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	行っている。	工夫している点と同じ。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	参画している。	工夫している点と同じ。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	一部整えられていないところがある。	工夫している点と同じ。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	行っている。	工夫している点と同じ。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	当事業所が対象となるのは、	工夫している点と同じ。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	法人内では、問題ないが他法人となると整備されていない。相談員の力量による部分が多いため自立支援協議会などを通じてその必要性の声を上げている。	工夫している点と同じ。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	地域のセンターは、機能していないので連携が図られている。	工夫している点と同じ。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	対象となるところで活動している子供たちよりも管理している一部の大人たちに理解が得られないところがある。関係機関の協力をいただき啓蒙活動を続けていく。	工夫している点と同じ。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	参加しているが職員への報告を内容まで踏み込んで周知するようにしていく。	工夫している点と同じ。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	3	話を聞く場の設定を数多くつくることをおこなっている。	工夫している点と同じ。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	実施されていなかったので実施する。	工夫している点と同じ。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時、支援計画書作成または説明時に説明を実施している。	工夫している点と同じ。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	設けている。	工夫している点と同じ。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得ている。	工夫している点と同じ。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	行っている。	工夫している点と同じ。

保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	行っている。	工夫している点と同じ。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	適切に対応している。	工夫している点と同じ。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	ホームページにて行っているが更新など適切にインフォメーション出来ていないので適宜にできるようにする。	工夫している点と同じ。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	契約時に確認を行っている。また、表出される場合に本人、保護者に確認をいただいている。	工夫している点と同じ。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	配慮している。	工夫している点と同じ。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	事業所に関連の方のみの正体であった。今後もう少し大きめの行事など地域の方に参加していただけるように企画する。	工夫している点と同じ。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	適宜に多くのパターンを用意して実施していく。	工夫している点と同じ。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	詳細な使えるBCPを再度策定し訓練など実施していく。	工夫している点と同じ。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	看護サマリー、医師による指示書又は処方箋などの提出をお願いして支援に生かしている。	工夫している点と同じ。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	契約時、発症都度または、1年ごとに（4月を基準にして）確認作業を実施している。アレルギーを持っている利用児に対しては、アレルゲン一覧表の提出をお願いしている。それを基にしての食事提供。	工夫している点と同じ。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	不十分なところが多く存在するため修正しつつ安全を確保し実施し支援していく。	工夫している点と同じ。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	周知している。	工夫している点と同じ。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	全体での朝の会事業所ミーティングで共有し検討を行うように周知している。	工夫している点と同じ。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	職員全員に対して毎月のアンケートを行いホームページ上で結果を公開している。研修は、専門研修は、交代で参加できるようにして、職員会議内でも研修を毎月実施している。	工夫している点と同じ。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	3	記載している。	工夫している点と同じ。

